

作成日:西暦 2024 年 7 月 9 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名:**X 線 CT 装置における操作卓表示値の精度検討

**本研究は藤田医科大学の倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。**

### 1. 研究の対象

2023 年 9 月 ~ 2025 年 3 月に藤田医科大学病院の低侵襲画像治療センター4 階 CT フロア CT 室 1 番で検査を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 2-1.研究目的

X 線 CT 検査は、被験者に対する被ばく線量の評価方法が確立しています。そのうちのひとつには米国医学物理学会が提唱する SSDE(Size Specific Dose Estimation)があります。SSDE を用いることで、被験者ごとの体格の違いを考慮した被ばく線量評価を行うことができます。近年、SSDE が CT 装置の操作卓に表示されるようになりました。しかし、表示される SSDE は撮影範囲で平均された値であり、特定の断面における被ばく線量を評価することはできません。

本研究の目的は、操作卓に表示される SSDE と任意の断面の SSDE の関係を明確にすることです。その関係を調べるために、診療目的で撮影した X 線 CT 検査の画像データ、撮影条件を用いて検討を行っていきます。

#### 2-2.研究方法

対象患者に対して、病院端末(HIS,RIS,PACS)より撮影画像と撮影条件を収集します。収集した画像と条件をもとに、患者ごとの各スライスあたりの SSDE を算出し装置に表示された SSDE と比較と検討を行います。

#### 2-3.研究期間

倫理審査委員会承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:診療目的で撮影された X 線 CT 検査画像および撮影条件ならびに患者の身長と体重

管理及び責任者:個人情報 (プライバシー) は、厳重に保護します。研究実施中を含む期間における保管の責任者は研究責任者とします。紙の資料は鍵のかかるキャビネットに保管し、画像データはパスワードをかけ研究目的以外には使用しません。研究期間の終了とともに、対応表を

破棄し、資料は当該論文等の発表後 10 年間保存します。論文や学会発表はもちろん個人が特定できるすべてのものは消去した上で、教育、研究発表などに用います。保管期間を過ぎた試料及び資料等については、速やかに廃棄します。紙媒体の資料についてはシュレッダーで裁断して廃棄します。電子データについてはバックアップ等を含め適切に消去します。

#### 4. 外部への試料・情報の提供

なし。

#### 5. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 医療科学部 准教授 小林正尚

#### 6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医療科学部

担当者：小林正尚

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2596

e-mail:masa1121@fujita-hu.ac.jp